改訂履歴

改訂内容	発行日
制定	2021.04.01
【基準範囲一覧】 凝固・線溶の採取容器(添加物)，採取量から「黒色ゴムキャップ（3.2 %クエン酸ナトリウム），0.9 mL」を削除。	2021.06.07
【基準範囲一覧】 「甲状腺刺激ホルモン (TSH)」の単位を「mIU/mL」から「μIU/mL」に変更。 「尿中薬物検査（トライエージ）」を削除。 【各種検査案内】 「睡眠時無呼吸検査案内」、「尿（検尿）案内」を追加。	2021.08.30
【基準範囲一覧】 「鉄 (Fe) 」、「不飽和鉄結合能 (UIBC) 」、「フェリチン (FER) 」の検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因に「溶血」を追加。	2021.12.03
【基準範囲一覧】 凝固・線溶の採取容器(添加物)，採取量に「水色ゴムキャップ（3.2 %クエン酸ナトリウム），0.9 mL」を追加。 「プロテイン C 活性」の基準範囲を「82 - 112」から「70 - 150」に変更。	2022.01.01
【基準範囲一覧】 尿検査 尿定量 「無機リン」の基準範囲を「500 - 1000」から「400 - 800」に変更。 髄液検査 「蛋白」の基準範囲を「10 - 40」から「15 - 45」、腰椎の基準範囲を「20 - 40」から「20 - 45」に変更。 造血器腫瘍遺伝子検査 「Amelogenin 遺伝子」を削除。 その他 浸透圧 「血液浸透圧」から「血漿浸透圧」に変更。 その他 SARS-CoV-2 検査 「簡易 PCR」を追加。 「RT-PCR」の採取容器(添加物), 採取量を「スワブ（鼻咽頭ぬぐい液）滅菌スピッツ（生理食塩水 3mL）」から「FLOQ スワブ（鼻咽頭ぬぐい液），検体輸送培地 滅菌スピッツ（生理食塩水 3 mL）」に変更。	2022.02.01

「LAMP」の採取容器(添加物), 採取量を「専用容器（鼻咽頭ぬぐい液）」から「FLOQ スワブ（鼻咽頭ぬぐい液）」に変更。	
【基準範囲一覧】 臨床化学 「心筋トロポニン T (TnT)」を削除。 「心筋トロポニン I (TnI)」を追加。	2022.03.01
【ホルター心電図検査案内】 検査中の注意事項に「指定された時間に来院できない場合はすみやかに下記問い合わせ先に電話してください。」を追加。	2022.06.01
【基準範囲一覧】 採血管変更に伴い、「紫色オーバーキャップ」を「紫色ゴムキャップ」、「茶色キャップ」を「赤色オーバーキャップ」に変更。 「脳性 Na 利尿ペプチド (BNP)」、「血液型」の採取量を「3 mL」から「2 mL」に変更。「キメリズム検査」の末梢血の採取量を「3 mL」から「5 mL」に変更。「副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)」の 3 mL の採血管を削除。	2022.07.01
【基準範囲一覧】 採血管変更に伴い、「血算」、「アンモニア」、「シクロスポリン」、「タクロリムス」等の採血管を「紫色ゴムキャップ」を「紫色オーバーキャップ」に変更。 凝固・線溶検査の「水色ゴムキャップ」を「黒色ゴムキャップ」に変更。 「脳性 Na 利尿ペプチド (BNP)」、「血液型」の採取量を「2 mL」から「3 mL」に変更。「キメリズム検査」の末梢血の採取量を「5 mL」から「3 mL」に変更。「副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)」の 3 mL の採血管を追加。 微生物迅速検査「クロストリジウム・ディフィシル抗原定性」 採取容器(添加物), 採取量を「嫌気ポーター，糞便：(液体/半液状) 25 µL (固形) 2 mm 径小片」から「嫌気ポーター，糞便（母指頭大）」に変更。 SARS-CoV-2 検査 「RT-PCR」、「簡易 PCR」、「LAMP」の検査(受入)不可基準に「多量の血液が付着したスワブでは検査不可」を追加。 心電図 (ECG) 「QT 間隔 (QTc)」の基準範囲を「0.35 – 0.45」から「0.35 – 0.44」に変更。 「トレッドミル運動負荷試験」を「運動負荷試験」に変更し、「心肺運動負荷試験」を追加。	2022.09.01

超音波検査 各エコーについて基準値を追加。 呼吸機能検査 「Gaensler1 秒率：FEV1 / FVC」、「Tiffenaeu1 秒率：FEV1 / VC」を追加。 「気道可逆性検査（改善率）」を「気管支拡張薬反応性検査（改善率）＊気管支拡張薬反応性ありの基準」に変更。 「%MMF(%最大中間呼気流量)」の基準範囲を「65 以上」から「80 以上」に変更。 精密肺機能検査、呼気ガス分析 基準範囲を追加。 心臓足首血管指数 「CAVI」の基準範囲を「9.0 以下」から「9.0 未満」に変更。 誘発電位検査 聴性脳幹反応 (ABR) 「I – V」の基準範囲を「4.11 ± 0.15」から「4.11 ± 1.05」に変更。 視覚誘発電位 (VEP) 「P100」の基準範囲を「97.0 ± 12.14」から「107.0 ± 12.14」に変更。 【採血案内】 「採血を受けられる患者さまへ」 受診科で対応していただく内容に「採血前の安静時間が必要な採血」を追加。	
【基準範囲一覧】 臨床化学 「心筋トロポニン I (TnI)」の「採取容器(添加物)，採取量」を「紫色オーバーキャップ (EDTA-2K) ， 2.0 mL」から「薄茶色キャップ（分離ポリ），5 mL」に変更。 ホルモン・腫瘍マーカー・感染症・免疫 甲状腺刺激ホルモン (TSH) 「基準範囲」を「0.500 - 5.00」から「0.61 - 4.23」に変更。 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」を削除。 遊離トリヨードサイロニン (FT3) 「基準範囲」を「2.3 - 4.0」から「1.68 - 3.67」に変更。 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」を削除。 遊離サイロキシン (FT4) 「基準範囲」を「0.90 - 1.70」から「0.70 - 1.48」に変更。	2022.10.01

「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」を削除。 TSH レセプター抗体(TRAb) 「基準範囲」を「2.0 未満」から「3.10 未満」に変更。 サイログロブリン (Tg) 「基準範囲」を「33.7 以下」から「3.68 - 64.15」に変更。 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」を削除。 ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 「基準範囲」を「男性 2.0 未満　女性 6.0 未満」から「5.00 未満」に変更。 「採取容器(添加物)，採取量」を「紫色オーバーキャップ (EDTA-2K) ，2.0 mL」から「薄茶色キャップ（分離ポリ），5 mL」に変更。 「検査(受入)不可基準」を削除。 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」を削除。	
【基準範囲一覧】 尿検査 尿定性 比重 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」を「造影剤や血漿増補剤などの高分子化合物の尿中排泄（屈折率測定法）」から「（屈折率測定法）」を削除。	2022.12.01
【基準範囲一覧】 ホルモン インスリン (IRI) 「基準範囲」を「1.1 - 17.0」から「2.1 - 19.0」に変更。 「検査(受入)不可基準」に「ヘパリン血漿での測定」を追加。 成長ホルモン (HGH) 「基準範囲」を「2.1 以下」から「男性 4.40 以下　女性 7.65 以下」に変更。 プロラクチン (PRL) 「基準範囲」を「男性 3.6 - 16.3　女性　4.1 - 28.9」から「男性 3.0 - 17.3 女性　1.6 - 21.9」に変更。 黄体形成ホルモン (LH) 「基準範囲」を「成人男性 1.7 - 11.2　成人女性 卵胞期 1.7 - 13.3 排卵期 4.1 - 68.7 黄体期 0.5 - 19.8 閉経後 14.4 - 62.2」から「成人男性 0.52 - 7.8 成人女性 卵胞期 1.1 - 12.1 排卵期 2.0 - 39.7 黄体期 0.7 - 21.6 閉経後 8.4 - 67.7」に変更。 卵胞刺激ホルモン (FSH)	2023.01.01

「基準範囲」を「成人男性 2.1 - 18.6　成人女性 卵胞期 4.5 - 11.0 排卵期 3.6 - 20.6 黄体期 1.5 - 10.8 閉経後 36.6 - 168.8」から「成人男性 1.3 - 17.0 成人女性 卵胞期 2.6 - 11.9 排卵期 2.8 - 15.6 黄体期 1.4 - 9.6 閉経後 13.3 - 157.1」に変更。 コルチゾール 「基準範囲」を「6.4 - 21.0」から「4.4 - 21.1」に変更。 エストラジオール (E2) 「基準範囲」を「成人男性 51.1 以下　成人女性 卵胞期 ＜20.0 - 300.8 排卵期 41.3 - 527.4 黄体期 ＜20.0 - 349.1 閉経後 48.0 以下 妊娠前期 966.0 - 4404.0 妊娠中期 7298.0 - 16390.0 妊娠後期 10800.0 - 40201.0」から「成人男性 42.0 以下　成人女性 卵胞期 ＜20.0 - 121.6 排卵期 ＜20.0 - 231.8 黄体期 ＜20.0 - 463.4 閉経後 53.3 以下 妊娠前期 457 - 3866 妊娠中期 867 - 35006 妊娠後期 10317 - 43944」に変更。 副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 「基準範囲」を「7.7 - 63.1」から「8.7 - 61.5」に変更。 腫瘍マーカー 癌胎児性抗原 (CEA) 「基準範囲」を「5.8 以下」から「5.9 以下」に変更。 α-フェトプロテイン (AFP) 「基準範囲」を「9.5 以下」から「7.0 以下」に変更。 CA125 「基準範囲」を「35.0 以下」から「31.4 以下」に変更。 CA19-9 「基準範囲」を「37.0 以下」から「34.4 以下」に変更。 CA15-3 「基準範囲」を「23.0 以下」から「22.2 以下」に変更。 前立腺特異抗原 (PSA) 「基準範囲」を「3.09 以下」から「男性 4.00 以下」に変更。 PIVKA-II 「基準範囲」を「37.8 以下」から「33.3 以下」に変更。 「検査(受入)不可基準」に「ヘパリン血漿での測定」を追加。 免疫 オートタキシン (ATX) 「基準範囲」を「男性 0.388 - 0.912　女性 0.450 - 1.280」から「男性	

0.490 - 0.817　女性 0.556 - 1.210」に変更。	
【基準範囲一覧】 凝固・線溶 「活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)(新)」を追加。 ホルモン 副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 「検査(受入)不可基準」に「採取容器間違い」を追加。 免疫 オートタキシン (ATX) 「検査(受入)不可基準」から「ヘパリン血漿での測定」を削除。 迅速検査（クイックラボ） 「SARS コロナウイルス抗原 + インフルエンザウイルス抗原」を追加。 SARS-CoV-2 検査 「採取容器(添加物), 採取量」から「滅菌スピッツ（生理食塩水 3 mL）」を削除。「検査(受入)不可基準」から「生理食塩水の入れすぎ」を削除。 項目「LAMP」を削除。 誘発電位検査及び瞬目反射 (BR) 基準範囲の記載方法を「± 表記」から「範囲表記」に変更。 （基準範囲自体は変更なし） 【採血案内】 「採血を受けられる患者さまへ」 ②以下に該当する方は事前にお申し付けください。 「◎血液をさらさらにする薬（ワーファリン・プラビックス）を服用中の方」を「◎血液をさらさらにする薬（ワーファリンなど）を服用中の方」に変更。	2023.03.01
【基準範囲一覧】 ホルモン 「C-ペプチド (CPR)」を追加。	2023.04.04
【基準範囲一覧】	2023.05.10

末梢血一般検査 以下の項目の基準範囲を変更。 赤血球分布幅 SD (RDW-SD) ♂ 39.0 - 52.3 → 37.3 - 47.0 ♀ 39.0 - 51.5 → 37.5 - 49.0 赤血球分布幅 CV (RDW-CV) 11.9 - 14.5 → ♂ 11.6 - 13.9 ♀ 11.5 - 14.1 血小板分布幅 (PDW) ♂ 9.8 - 16.1 → 9.2 - 16.6 ♀ 9.8 - 16.2 → 9.3 - 17.1 平均血小板容積 (MPV) ♂ 9.4 - 12.6 → 9.0 - 12.3 ♀ 9.4 - 12.5 → 9.2 - 12.5 末梢血液像(自動機械法) 以下の項目の基準範囲を変更。 好中球 (Neu) ♂ 41 - 75 → 38.4 - 73.7 ♀ 38 - 71 → 37.5 - 82.9 好塩基球 (Bas) ♂ 0.2 - 1.8 ♀ 0.2 - 2.0 → 0.2 - 1.4 好酸球 (Eos) ♂ 0.2 - 8.4 → 0.3 - 8.8 ♀ 0.2 - 7.3 → 0.2 - 6.4 リンパ球 (Lym) ♂ 21 - 51 → 18.0 - 49.1 ♀ 21 - 50 → 14.0 - 52.6 単球 (Mon) ♂ 3 - 8 → 4.9 - 11.0 ♀ 3 - 8 → 2.8 - 10.0 好中球数 (Neut) ♂ 1.64 - 5.95 → 1.70 - 6.37 ♀ 1.57 - 5.78 → 1.65 - 6.85 リンパ球数 (Lym)	

♂ 1.12 - 3.33　→　0.99 - 3.16 ♀ 0.99 - 2.90　→　0.85 - 3.18 網赤血球数 (Reti) ♂ 6.7 - 19.2　→　10.7 - 23.4 ♀ 5.9 - 20.7　→　9.4 - 24.5 幼若血小板比率 (IPF) 1.1 - 6.1　→　♂ 0.7 - 6.3　♀ 0.7 - 6.4 神経伝導速度 正中神経 MCV、尺骨神経 MCV、脛骨神経 MCV の基準範囲を部位別の表記に変更し、 基準範囲を以下の通り変更。 正中神経 MCV（手掌–手関節） 43.6 - 54.0 正中神経 MCV（手関節–肘関節） 52.9 - 62.5 尺骨神経 MCV（手関節–肘関節下） 53.7 - 63.7 尺骨神経 MCV（肘関節下–肘関節上） 55.6 - 66.4 脛骨神経 MCV（足関節–膝関節） 44.9 - 52.1 腓腹神経 SCV の基準範囲を年齢別の表記に変更し、基準範囲を以下の通り変更。 腓腹神経 SCV（10–40 歳） 46.9 - 58.1 腓腹神経 SCV（41–84 歳） 45.3 - 56.9 「腓骨神経 MCV（足関節–膝関節下）」、「腓骨神経 MCV（膝関節下–膝関節上）」を追加。　また、以下の項目の基準範囲を変更。 正中神経 SCV	

62.2 (53.2 - 71.2)　→　50.4 - 62.0 尺骨神経 SCV 67.3 (59.7 - 74.9)　→　49.6 - 60.0 「終末潜時」、「振幅・神経活動電位」を削除。 「F 波最短潜時」、「手根管症候群検査　潜時差」を追加。	
【基準範囲一覧】 免疫 プロカルシトニン (PCT) 「基準範囲」を「0.5 未満」から「0.50 以下」に変更。	2023.06.30
【基準範囲一覧】 微生物迅速検査 「クロストリジウム・ディフィシル抗原定性」の名称を「クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性」に変更。 心電図 (ECG) 「QRS 幅」の名称を「QRS 時間」に変更。 【採血案内】 受診科で対応していただく事例として「下肢からの採血」を追加。	2023.08.08
【基準範囲一覧】 迅速検査（クイックラボ） O-157 抗原を削除。	2023.09.11
【基準範囲一覧】 心電図 (ECG) 「R 波」、「Q 波」、「S 波」、「ST」、「T 波」を追加。	2023.11.30
【基準範囲一覧】 臨床化学　その他 臨床化学項目 「ミオグロビン」を削除。 免疫 「血清アミロイド A 蛋白 (SAA)」を削除。	2023.12.28
【基準範囲一覧】 尿検査　尿沈渣 「赤血球」「白血球」の基準範囲を「5 未満」から「4 以下」に変更。 「血圧計付きホルター心電図検査案内」を追加。	2024.02.01

【基準範囲一覧】 神経伝導検査　手根管症候群検査 潜時差 以下の項目の基準範囲を変更。 2L–INT 法 　0.5 以下　→　0.5 未満 環指法 　0.5 以下　→　0.5 未満 母指比較法 　0.5 以下　→　0.5 未満	2024.03.05
【基準範囲一覧】 「活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)」を削除。	2024.04.01
【基準範囲一覧】 ホルモン コルチゾール 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」に「上昇　蛍光眼底造影剤（フルオレセイン）、リウマトイド因子高値」を追記。 エストラジオール (E2) 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」に「上昇　蛍光眼底造影剤（フルオレセイン）、リウマトイド因子高値」を追記。 副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」に「上昇　ストレス、低下　溶血、検体量不足、室温放置、蛍光眼底造影剤（フルオレセイン）」を追記。 腫瘍マーカー CA125 基準範囲を「31.4 以下」→「35.0 以下」に変更。 「ヒト精巣上体タンパク 4 (HE4) 」を追加。	2024.06.26
【基準範囲一覧】 凝固・線溶 「採取容器」を「黒色ゴムキャップ」から「水色ゴムキャップ」に変更。 項目「アンチトロンビン活性 (AT)」、「プロテイン C 活性 (PC)」、「フィブリン/フィブリノゲン分解産物 (FDP)」、「D ダイマー (DD)」、「可溶性フィブリンモノマー複合体 (SF)」の「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」に「検体量の過不足や採血手技の不備によるヘパリン混	2024.08.06

入」を追加。 臨床化学 血糖関連 「グルコース (Glu)　随時」を追加。 SARS-CoV-2 検査 簡易 PCR 「採取容器」の「FLOQ スワブ」を「FLOQ スワブ（チューブ入り）」に変更。 【採血案内】 「患者さま」を「患者さん」に修正。	
【基準範囲一覧】 採取容器の「嫌気ポーター」を「シードチューブ」に変更。 迅速検査（クイックラボ） 項目「尿中レジオネラ抗原」、「尿中肺炎球菌抗原」の採取容器を「尿スピッツ」から「尿カップ、尿スピッツ」に変更。 項目「尿中 hCG（妊娠反応）」の採取容器を「尿カップ」から「尿カップ、尿スピッツ」に変更。 項目「ロタウイルス抗原」、「ノロウイルス抗原」の採取容器に「滅菌カップ」を追加。 足関節上腕血圧比 ABI 基準範囲を「正常」と「ボーダーライン」に分けて記載する形に変更。	2024.12.12
【基準範囲一覧】 凝固・線溶 「検査(受入)不可基準」に「ヘマトクリット 55 %以上の検体 (ただし，ヘマトクリットに応じクエン酸ナトリウム量を調製した採血管で採血した場合は測定可能) 」を追加。 感染症 項目「HBV 核酸定量」、「HCV 核酸定量」 「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」から「溶血、ビリルビン」を削除。 項目「(1→3) β-D グルカン」	2025.02.03

「検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与える要因」の「セルロース系透析膜による血液透析患者　真菌由来(1→3) -β-D グルカン製剤投与患者など」を削除。「術後、一過性に上昇する場合あり」を追加。	